

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6(5)	身体拘束をしないケアの実践について、玄関チャイムや30分毎の所在確認を行なっているが、頻繁に出て行こうとするご利用者がいるため、やむを得ず玄関を施錠している。	①鍵を掛けなくてもよい状態(任組み)をつくる ②鍵を掛けている時間が徐々に短縮できる。	①毎月、施錠時間を短縮するための対策委員会を開催し記録を残す。 ②身体拘束についての勉強会を開催する。	12カ月
2	2(2)	事業所と地域との付き合いについては、ボランティアの受入れを行ったり、地域行事や社会福祉協議会の食事会等に積極的に参加しているが、地域の活動(清掃活動、防災活動)等への参加までは出来ていない。	①地域の清掃活動や防災活動等にも、参加できるようにしていく。 ②地域行事への参加やボランティア活動については継続する。 ③核家族になり高齢者と接する機会が少ない。子供達に認知症の事を少しでも理解して頂く。 ④雑巾をプレゼントし喜んで頂ければご利用者の励みになりやる気が出る。自立支援に繋がる。	①運営推進会議にて、今回の評価結果を報告し小さな活動からでも良いので、まず参加していく意思を表明する。 ②地域の清掃活動への参加(回覧板等で情報収集) ③一ノ宮公園内の散歩道を清掃する(安全面を考慮する)。 ④ご利用者が纏っている雑巾を、小学校へプレゼントする。小学校まで出かけて雑巾を渡す。 ⑤小学校は来年度の計画が3月には決まっている。福祉の授業も組み込まれているので、それを踏まえてGHの事業計画を立てる。 ⑥中学生の職場体験の受け入れをする。 ⑦GHの方から色々な方面へ積極的にアプローチする。	6カ月
3	35(13)	災害対策について年間計画に添って日中・夜間ともに実行しているが、火災訓練や非常食の備蓄管理については出来ているが、震災や風水害についての訓練実施が十分でない。また、地域との協力体制がとれていない。	①年間計画に添って、火災訓練・震災訓練・風水害訓練が実施できる。 ②地域の災害時の避難場所として施設が協力できる体制をつくる。	①事業計画に訓練内容を入れて実行する。 ②災害マニュアルを見直す。 ③運営推進会議を活用したり、公共機関へ相談に行き地域での役割を持つ。	12カ月
4					カ月
5					カ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。  
評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出してください。(提出必須)